

事業名：公共街路灯新設更新等事業

土木事務所道路管理課 維持係

政策	04 安全・安心			戦略				
取組の基本方針	01 安全な暮らしの確保			具体的施策				
開始年度	昭和42年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内幹線道路等 約 L=9.9Km
 （令和2年度より指標を幹線道路延長に変更）

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市内幹線道路等	Km	187.38	187.38	187.38	99
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

道路ストック総点検事業により、平成25年、26年に公共街路灯を点検し、その診断判定結果に基づき効果的に更新工事を実施する。
 社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（6/10）

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	更新灯数	基	96	86	63	16
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

公共街路灯の更新により、その機能の維持・向上と、夜間の地域環境の向上が図られる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	公共街路灯数	基	3,320	3,382	3,407	3,448
成果指標 2	街路灯点検結果による更新が必要な灯数（H26点検）	基	398	398	398	398

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費（A）		千円	66,755	52,304	70,028	39,600
正職員人件費（B）		千円	1,524	6,102	3,110	3,096
総事業費（A+B）		千円	68,279	58,406	73,138	42,696

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	道路照明設備点検により判明した老朽化による倒壊危険度が高い公共街路灯の撤去、更新	更新工事費 39,600千円

2年度への改善方向性（2月時点）	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：空家等対策推進事業

建築指導課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	01 安全な暮らしの確保			具体的施策					
開始年度	平成30年度	終了年度	令和5年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内全域の空き家

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 市内全域の空き家（推計）	棟	0	300	300	300
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

空き家等がもたらす課題の解消に向け、空家等対策計画に基づき、所有者等の管理意識の醸成と関係団体との連携による発生抑制及び利活用の推進を図るとともに、空き家等対策の情報発信や相談体制の整備を行うほか、「江別市特定空家等解体補助金交付要綱」に基づき、特定空家等の除却・解体支援を行う。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 空き家に関する相談・指導件数	件	0	159	83	79
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

危険空き家等への対応及び空き家等の利活用により、安全で安心な住環境を確保する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 管理不全な空き家の解消件数	件	0	14	34	22
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	0	203	297	1,785
正職員人件費 (B)	千円	0	16,017	9,330	14,708
総事業費 (A+B)	千円	0	16,220	9,627	16,493

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 <ul style="list-style-type: none"> 空家等対策協議会の開催 啓発パンフレットの作成等 特定空家等の認定 危険空き家等への応急対応 特定空家等の除却・解体支援 	<ul style="list-style-type: none"> 空家等対策協議会運営費：198千円 啓発パンフレット作成経費等：87千円 特定空家等解体補助金：1,500千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
その他	令和元年6月補正予算により、特定空家等解体補助金1,500千円を事業費に追加した。令和2年度は補正予算後の事業内容を維持する。

事業名：河川等維持事業

土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略				
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策				
開始年度	昭和57年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市が管理する河川及び調整池

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	準用河川及び普通河川数	河川	25	25	25	25
対象指標 2	調整池数	ヶ所	27	27	27	27

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市が管理する河川及び調整池において発生した不良箇所を解消するための工事等を行う。

- 1) 法面補修工事、浚渫工事
- 2) 管理用道路補修工事
- 3) 調整池における防護柵補修など

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	河川・調整池の補修等工事件数	件数	9	3	7	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

河川や調整池が、本来発揮すべき機能を維持する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	河川・調整池の不良箇所数	件数	7	3	6	2
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	9,782	7,933	7,623	10,339
正職員人件費 (B)		千円	2,285	2,288	2,333	2,322
総事業費 (A+B)		千円	12,067	10,221	9,956	12,661

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）			
2年度	浚渫工事の実施 調整池フェンス改修工事の実施	普通河川明野川床ざらい工事	3,	498	千円
		中樹林集水路床ざらい工事	2,	255	千円
		調整池フェンス設置工事	2,	535	千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：排水機場維持管理事業

土木事務所治水課

政策	04 安全・安心	戦略						
取組の基本方針	02 地域防災力の向上	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

排水機場

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 排水機場数	箇所	18	18	18	18
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

市内排水機場等の点検整備・点検操作を委託で実施する事により、災害に備えた施設・設備の維持管理を行う。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 維持管理経費	千円	57,552	67,855	64,691	67,831
活動指標 2 施設巡回・点検回数	回	9	9	9	9

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設・設備を適切に管理し、緊急時に対応できる機能を維持する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	57,552	67,855	64,691	67,831
正職員人件費 (B)	千円	4,571	4,576	4,665	6,193
総事業費 (A+B)	千円	62,123	72,431	69,356	74,024

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	市内排水機場（18 機場）の点検整備・維持修繕 緊急運転	市内排水機場管理委託	52,000千円
		市内排水機場自家用電気工作物点検	1,067千円
		市内排水機場緊急排水運転費	3,000千円
		市内排水機場燃料費	1,343千円
		市内排水機場光熱水費	4,820千円
		市内排水機場施設等修繕費	1,500千円
		仮設ポンプ据付撤去費（中島、角山）	1,563千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：江別河川防災ステーション管理経費 土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略				
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策				
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別河川防災ステーション

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別河川防災ステーションの維持・管理を行う

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	開設日数	日	308	306	308	307
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設が適切に管理運営され、災害時に防災拠点として利用される。また、平常時には利用者が多目的に利用できるとともに、河川への防災意識の向上が図られる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	不具合件数	件数	0	0	0	0
成果指標 2	利用者数	人	80,518	78,971	80,000	80,000

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	21,652	20,365	22,132	22,419
正職員人件費 (B)		千円	3,809	3,814	3,888	4,645
総事業費 (A+B)		千円	25,461	24,179	26,020	27,064

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	江別防災ステーションの維持管理	館内管理業務	13,614千円
		燃料費	1,700千円
		光熱水費	3,465千円
		施設等修繕費	595千円

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：耐震化推進支援事業

建築指導課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策					
開始年度	平成22年度	終了年度	令和 2年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市耐震改修促進計画に基づく民間住宅の所有者及び、居住者又は居住予定者

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	対象建築物数	戸	1,390	4,656	4,656	4,656
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

同計画に基づき耐震化を促進するために木造住宅等の無料簡易耐震診断を実施する他、「江別市木造住宅耐震改修等補助金交付に関する要綱」により専門家が行う耐震診断、補強設計及び耐震改修工事の費用の一部を補助する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	660	60	920	2,289
活動指標 2	無料耐震診断を行った件数	件	3	9	1	10

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

現行の耐震基準に満たない既存建築物の耐震性能の向上を図り、地震による建築物の倒壊被害から市民の生命及び財産に対する被害を未然に防止する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	補助利用率	%	88	2.62	40.19	100
成果指標 2	補助金を受けた件数	件	4	1	2	9

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	1,448	69	2,311	2,309
正職員人件費 (B)		千円	6,856	6,864	7,775	7,741
総事業費 (A+B)		千円	8,304	6,933	10,086	10,050

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・無料簡易耐震診断 ・専門家が行う耐震診断、補強設計及び耐震改修工事への補助 ・出前講座「住宅の耐震化セミナー」の実施、支援制度のPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断・補強設計・耐震改修への補助 2,289千円 ・新規耐震パンフレットの製作・印刷 20千円 	

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：耐震改修促進計画策定経費

建築指導課

政策	04 安全・安心			戦略				
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策				
開始年度	令和 2年度	終了年度	令和 2年度	区分1	新規	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に現存し、旧耐震基準で建築され、耐震性が不足又は未確認である全ての建築物。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	対象建築物数	戸	0	0	0	7,531
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

建築物の耐震化に関する次期計画を策定する事で計画的に耐震化を推進し、建築物の倒壊等による市民の生命及び財産への被害を未然に防止する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	検討会議開催回数	回	0	0	0	2
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

耐震化に関する目標、各種施策等を定めた次期「江別市耐震改修促進計画」を策定し、耐震化を推進する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	計画策定数	件	0	0	0	1
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	4,209
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	7,741
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	11,950

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	・令和2年度で終了する江別市耐震改修促進計画の次期計画策定にあたって、現計画を検証し、今後の耐震化の動向を推計するとともに、北海道の計画と整合を図るものとする。策定に必要な調査、推計、資料作成については、専門業者に委託する。	・耐震改修促進計画策定委託	4,200千円 ・道庁と協議・旅費 9千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	次期江別市耐震改修促進計画策定にあたって、現計画を検証し、今後の耐震化の動向を推計するとともに、北海道の計画と整合を図るものとする。策定に必要な調査、推計、資料作成については、専門業者に委託する。

事業名：新栄団地建替事業

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営住宅（新栄団地、野幌団地及びあけぼの団地の一部）

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	328	296	344	268
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

新栄団地、野幌団地及びあけぼの団地の一部を新栄団地に建替・集約する。
 新栄団地建替の設計、工事、既存住宅の用途廃止等を実施する。
 R2～R3 E棟建設，R4～R5 F棟建設

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	建設戸数	戸	48	0	48	0
活動指標 2	除却戸数	戸	0	32	0	72

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

老朽化し、狭隘な住宅を建て替えることにより、入居者が安全に安心して暮らせるようにする。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	団地改善率	%	43.9	48.6	55.8	71.6
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	798,111	360,006	943,966	502,023
正職員人件費 (B)		千円	6,856	6,864	6,998	6,967
総事業費 (A+B)		千円	804,967	366,870	950,964	508,990

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> 新栄団地E棟建設工事（建築工事・各種工事）【R2～R3継続事業】 既存建物除却工事 新栄団地・野幌団地 	<ul style="list-style-type: none"> 新栄団地E棟建設工事 352,116千円 既存建物除却工事 新栄団地 38,060千円 野幌団地 110,550千円 	

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：公園管理事業

都市建設課 公園係

政策	05 都市基盤	戦略						
取組の基本方針	01 市街地整備の推進	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する都市公園

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 市が管理する都市公園数	箇所	230	230	230	232
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- 公園の清掃や草刈等の維持管理及び管理運営を行う。
- 屋外体育施設の維持管理を指定管理者に委任する。
- 公園施設長寿命化計画に基づき、遊具等の改築を国の補助を受けて実施する。（補助率：1/2）

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 指定管理料（R2予算は市管理経費を含む）	千円	153,349	154,259	155,279	172,943
活動指標 2 改築遊具・施設数	施設	3	6	7	9

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・管理運営を適切かつ効率的に行い、市民が快適で安全に憩える公園とする。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 自主事業件数（指定管理者）	件	15	16	17	5
成果指標 2 累計改築遊具・施設数	施設	6	12	19	28

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	247,039	286,564	296,549	374,144
正職員人件費 (B)	千円	14,855	22,500	24,491	24,384
総事業費 (A+B)	千円	261,894	309,064	321,040	398,528

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 ・公園草刈や清掃等の維持管理業務 ・指定管理者による屋外体育施設の管理運営 ・公園施設長寿命化計画に基づく遊具等の改築及び修繕 ・アダプトプログラム ・樹木管理（剪定、伐採等）	・維持補修関係委託料 140,809千円 ・指定管理料 18,378千円 ・改築関係工事費 159,410千円 ・維持補修関係工事費 9,500千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市民参加による公園づくり事業

都市建設課 公園係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策				
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する都市公園

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 市が管理する都市公園数	箇所	230	230	230	232
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・公園施設長寿命化計画に基づき、公園の再整備を国の補助を受けて実施する。（補助率：1/2）
- ・整備内容については地域の子ども達や自治会の参加によるワークショップ会議により計画する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 再整備公園数	箇所	1	1	1	1
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市民協働のシンボルとして地域に親しまれる公園にする。
- ・公園再整備に併せて、公園施設のバリアフリー化を図ることで、誰もが利用しやすい公園にする。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 累計再整備公園数	箇所	14	15	16	17
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	43,464	55,109	40,220	44,920
正職員人件費 (B)	千円	6,094	6,102	6,220	6,193
総事業費 (A+B)	千円	49,558	61,211	46,440	51,113

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 ・ゆりのき公園再整備工事（野幌住吉町） 面積：約0.25ha 内容：遊具更新、バリアフリー化等 ・公園再整備に向けたワークショップ開催	・整備工事費 41,000千円 ・一般委託料 3,900千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：町名板再整備事業

開発指導課 開発指導係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策				
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民
・来訪者

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市民	人	118,979	118,971	118,971	119,510
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

1. 市街化区域内の角地や町名界にある建物に所有者の同意を得た後、街区型町名板を貼付
2. 江別の顔づくり事業により新たに整備された交差点に信号機型町名板を整備

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	街区型町名板整備数	枚	232	201	265	95
活動指標 2	信号機型町名板整備数	ヶ所	0	0	1	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民及び市内在来訪者等に町名や地番をわかりやすい状態にする

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	所在確認の問い合わせ件数	件	8	3	2	2
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	1,768	1,662	1,755	1,179
正職員人件費 (B)		千円	3,809	3,814	3,888	3,871
総事業費 (A+B)		千円	5,577	5,476	5,643	5,050

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	1. 街区町名板 ~住民及び来訪者の利便性を図る ・市民要望による街区町名板の貼付 ・未貼付個所等現況調査及び意向確認、貼付 2. 信号機型町名板 ~住民及び来訪者の利便性を図る ・信号機型町名板の整備	・街区型町名板整備費	430千円
		・信号機型町名板整備費	749千円

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

見直し	街区型町名板整備について、町名板の整備率は全市平均57%であることから、当面50%未満の地区を重点的に整備するよう更新計画を見直し、単年度貼付枚数の削減を行う。また、作業方法の見直しを行い、現地調査時に意向確認書を直接対象家屋に投函する事により、事業費（往復郵便代金）の削減を図る。
-----	---

事業名： 団地集会所維持管理経費

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤	戦略						
取組の基本方針	01 市街地整備の推進	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

団地集会所

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 施設数	箇所	5	5	5	5
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

団地集会所の維持・管理

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 利用可能日数	日	308	308	308	307
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

集会所利用者が安心して利用できる。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 集会所使用件数	件	532	527	550	550
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	2,797	2,888	2,960	2,914
正職員人件費 (B)	千円	762	763	778	774
総事業費 (A+B)	千円	3,559	3,651	3,738	3,688

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 団地集会所の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集会所管理人報酬 1,800千円 ・ 集会所燃料費 99千円 ・ 集会所光熱水費 711千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市営住宅管理経費

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営住宅入居者

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 市営住宅入居戸数	戸	968	949	1,000	1,000
対象指標 2 市営住宅入居者数	人	1,892	1,873	2,000	2,000

手段（事務事業の内容、やり方）

市営住宅の家賃決定、入居者募集、選考及び決定、家賃及び敷金の徴収、徴収猶予及び減免、模様替え等の承認、明け渡し請求などの処分、入居相談、世帯人数と住戸規模のミスマッチ解消の実施。施設の維持保全及び一般修繕。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 維持修繕受付件数	件	566	556	550	550
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市営住宅が適切に管理され、入居者が快適に生活できる（政策空家を除く）。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 入居率	%	82.1	80.7	84.8	84
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	46,400	51,124	51,400	52,835
正職員人件費 (B)	千円	12,951	12,203	13,218	13,160
総事業費 (A+B)	千円	59,351	63,327	64,618	65,995

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 ・住宅の小規模修繕 ・住宅設備の保守点検 ・家賃の決定及び徴収・滞納整理	・住宅の修繕費 19,000千円 ・保守点検等の委託費 14,766千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 弥生団地大規模改善事業

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策				
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営住宅（弥生団地）

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 市営住宅管理戸数	戸	223	223	223	223
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

市営住宅長寿命化計画に基づき、弥生団地の大規模改善工事を計画的に実施する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 外部改修戸数	戸	0	24	24	24
活動指標 2 設備改修戸数	戸	24	24	24	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

弥生団地の大規模改善工事を計画的に実施することにより、入居者が安全に安心して暮らせる市営住宅を供給する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 団地改善率（改修戸数／延べ改修戸数）	%	34.9	44.5	54.1	58.9
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	21,562	111,260	129,041	102,168
正職員人件費 (B)	千円	762	763	778	774
総事業費 (A+B)	千円	22,324	112,023	129,819	102,942

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 ・弥生団地F棟外部改修工事（屋根改修、外壁塗装、アルミサッシ化等）	・弥生団地F棟外部改修工事 102,168千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市営住宅長寿命化計画策定事業

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策				
開始年度	平成31年度	終了年度	令和 2年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

平成23年度に策定された、「江別市営住宅長寿命化計画」
計画期間：平成24年度～平成33年度

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	0	0	1,205	1,129
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

上位計画である江別市総合計画、江別市住生活基本計画、都市計画、福祉計画などの関連計画等の内容を踏まえ「公営住宅等長寿命化計画策定指針」に基づき、現「江別市営住宅長寿命化計画」を見直す。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	委員会等開催回数	回	0	0	0	4
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

団地別・住棟別の修繕や改善、建替などの事業プログラムを定め、市営住宅の効率的かつ円滑な更新を行い、市営住宅の需要に的確に対応する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	計画策定数	件	0	0	0	1
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	4,000	4,568
正職員人件費 (B)		千円	0	0	6,220	6,193
総事業費 (A+B)		千円	0	0	10,220	10,761

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	市営住宅長寿命化計画策定業務委託	市営住宅長寿命化計画策定業務委託	4,300千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：道路景観づくり推進事業

土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市内の道路
・違反広告物

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 市内の国道・道道・市道実延長	km	866	860	863	864
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

・北海道屋外広告物条例に違反するはり紙、はり札及び立看板を除却する。
・広告主への除却指導（年数回）
・違反広告物の除却（年数回）
・石狩振興局へ除却数を報告（年2回）

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 広告主への指導件数	件	1	2	34	34
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

道路の美観風致の維持、整然とした街並みとなるために違反広告物を放置しづらくなる。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 違反広告物の除却数	枚	564	237	567	500
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	1,310	968	684	507
正職員人件費 (B)	千円	1,524	1,525	1,555	1,548
総事業費 (A+B)	千円	2,834	2,493	2,239	2,055

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 ・ 広告主への除却指導 ・ 違反広告物の除却 ・ 石狩振興局へ除却枚数を報告	・ 軍手等の消耗品 14千円 ・ 除却活動員の保険 5千円 ・ 広告調査、除却委託経費 488千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：大麻市営駐車場管理経費

土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤		戦略				
取組の基本方針	02 交通環境の充実		具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

大麻市営駐車場

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 指定管理料	千円	8,489	9,997	10,140	10,434
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

低廉な料金で駐車できる駐車場を確保することにより、駅周辺の路上駐車削減を図る。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 年間延べ利用台数	台	47,105	46,613	47,000	47,000
成果指標 2 苦情件数	件	0	0	0	0

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	8,489	9,997	10,486	11,781
正職員人件費 (B)	千円	2,285	2,288	2,333	2,322
総事業費 (A+B)	千円	10,774	12,285	12,819	14,103

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 ・市営駐車場の運営管理を指定管理者に委託 ・令和元年度に照明灯内部から撤去し保管しているPCB安定器を運搬処理	・指定管理料 10,434千円 ・PCB運搬処理 1,347千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：除排雪事業

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤	戦略						
取組の基本方針	02 交通環境の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公共除排雪対象の市道及び公共施設等

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	市道総延長	km	832	835	835	837
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

ほぼ連続した降雪により、降り始めからの降雪量が10cmを超えた場合等で、除雪作業を要すると認められる状況であるほか、断続的な降雪や吹き溜まり等で、交通障害が予想される場合に除雪作業を実施する。
また、道路幅員の狭窄、路肩の雪堤状況等諸条件から総合的に判断し、運搬排雪作業を行う。
自治会が主体で実施する排雪作業に対し、ロータリ除雪車（車両のみ）とダンプロック（車両と運転手）を貸与し、排雪作業支援を行う。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	除雪延長	km	729	732	732	734
活動指標 2	自治会排雪延長	km	346	348	346	346

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

冬期間の円滑な道路交通網を確保する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	降雪・吹雪による交通止めとなった箇所数	箇所	0	0	0	0
成果指標 2	実施自治会数	自治会	101	102	101	102

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	893,350	1,028,878	1,011,324	1,280,781
正職員人件費 (B)		千円	22,854	22,500	23,325	28,642
総事業費 (A+B)		千円	916,204	1,051,378	1,034,649	1,309,423

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> 除排雪事業委託 自治会排雪実施に係る作業車両の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 除排雪事業委託 961,000千円 排雪作業車両の支援 220,100千円 	

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：私道除雪補助金

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一般通行の用に供する私道

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	私道除雪申請延長	km	1.54	1.54	1.54	1.54
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

自治会が行う私道除雪について、市が算定する補助基準額の2分の1以内の額を自治会に補助する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	938	976	1,236	1,315
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

私道における冬期間の交通確保を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	私道除雪延長	km	1.54	1.54	1.54	1.54
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	938	976	1,236	1,315
正職員人件費 (B)		千円	381	381	389	387
総事業費 (A+B)		千円	1,319	1,357	1,625	1,702

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	・私道除雪補助金 10自治会 L=1.54km	・私道除雪補助金 1,315千円	

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：不法投棄対策事業（市道）

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成17年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市道

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 市道延長	km	832	835	835	837
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

市道に不法投棄された投棄物について、巡回を行い処理する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 巡回回数	回	12	12	12	12
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

不法投棄物を処理することにより、道路の機能及び景観を維持するとともに、さらなる不法投棄発生を抑制する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 不法投棄物延べ処理件数	件	417	213	300	300
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	3,616	3,502	4,400	4,400
正職員人件費 (B)	千円	762	763	778	387
総事業費 (A+B)	千円	4,378	4,265	5,178	4,787

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
2年度	不法投棄の巡回、回収、運搬、分別の委託業務	不法投棄対策委託業務費 4,400千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：道路橋梁管理経費（臨時）

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市道

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 市道総延長	km	832	835	835	837
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

老朽化による施設の更新及び修繕工事

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 実施延長	km	2	2.6	2.2	3.8
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

道路施設を常に良好な状態に保ち道路の走行性及び安全性を確保し、道路の利用者が安心して通行できる道路を維持する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 道路維持管理上の不具合件数	件	858	916	700	700
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	430,586	404,476	402,963	363,559
正職員人件費 (B)	千円	13,712	13,729	13,995	13,934
総事業費 (A+B)	千円	444,298	418,205	416,958	377,493

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 <ul style="list-style-type: none"> ・工事路線現況測量 ・路面凍上改修工事 ・農村地区舗装新設工事 ・再整備工事等 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託費 11,756千円 ・使用料 1,033千円 ・工事費 348,500千円 ・投資関係備品購入費 2,270千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：道路橋梁管理経費（経常）

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市道

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1 市道総延長	km	832	835	835	837
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

道路の損傷箇所の修繕・復旧対応

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1 市道管理延長	km	832	835	835	837
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

道路施設を常に良好な状態に保ち、道路の走行性及び安全性を確保し、道路の利用者が安心して通行できる道路を維持する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1 道路維持管理上の不具合件数	件	858	916	700	700
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)	千円	149,063	146,794	146,100	150,000
正職員人件費 (B)	千円	9,523	9,534	9,719	8,515
総事業費 (A+B)	千円	158,586	156,328	155,819	158,515

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度 <ul style="list-style-type: none"> 路面清掃委託 道路草刈委託 道路維持作業委託 舗装補修工事 原材料費（砂利・常温合材等） 	<ul style="list-style-type: none"> 委託費 59,000千円 工事費 74,000千円 原材料費 17,000千円

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：ロードヒーティング管理経費

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

路面融雪施設

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	ロードヒーティング延長	m	1,197.6	1,169.2	1,388.2	1,388.2
対象指標 2	ロードヒーティング面積	m ²	6,765.5	6,606.5	7,653.8	7,653.8

手段（事務事業の内容、やり方）

冬季間において巡回、点検を実施し、正常に作動しているかどうかの確認。更新計画を策定し老朽化している施設の更新を図り、効率的な運用を目指す。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	巡回・点検回数	回	16	16	16	16
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

ロードヒーティングを適切に管理し、円滑な移動を可能にし、市民の安全性、利便性、快適性を高める。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	管理上の不具合件数	件	2	4	5	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	37,802	34,129	38,688	40,647
正職員人件費 (B)		千円	762	763	778	774
総事業費 (A+B)		千円	38,564	34,892	39,466	41,421

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> 光熱水費 施設等修繕費 点検委託費他 	<ul style="list-style-type: none"> 光熱水費 38,937千円 施設等修繕費 950千円 委託費他 760千円 	

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：橋梁長寿命化事業

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市内の橋梁

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	橋梁（市道）	橋	155	147	147	147
対象指標 2	修繕が必要な橋梁数	橋	46	38	38	38

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・江別市橋梁長寿命化修繕計画（平成25年2月19日策定）に基づき修繕工事を実施する。
- ・事業の進め方については、5年を目途に定期点検を実施し、工事の優先性を検証することにより、効率的かつ効果的に計画を進める。
- ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6/10）

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	当該年度修繕対象橋梁数	橋	1	5	1	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

計画的な予防修繕による橋梁の延命化（長寿命化）を図ることで、修繕費用等を縮減する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	修繕工事が完了した橋梁の割合	%	17.4	34.2	36.8	44.7
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	75,959	101,067	137,776	152,794
正職員人件費 (B)		千円	6,475	6,864	7,775	7,741
総事業費 (A+B)		千円	82,434	107,931	145,551	160,535

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁定期点検 ・橋梁修繕工事実施設計 ・橋梁修繕工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期点検委託 50,000千円 ・修繕工事実施設計 5,200千円 ・修繕工事 97,594千円 	

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：道路施設再整備事業

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

道路施設全般

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	道路施設数	箇所	212	212	212	212
対象指標 2	対象道路延長	km	247	247	247	247

手段（事務事業の内容、やり方）

道路ストック総点検事業により路面性状調査を行い、その結果をもとに舗装の適切な補修を実施する。社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（6/10）

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	道路施設点検件数	箇所	0	0	0	1
活動指標 2	道路路面調査延長	km	0	0	0	247

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

今後老朽化する道路施設全般について、総点検を行い、落下、倒壊等の恐れのあるものは改修、修繕を図り第三者への被害を防止する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	改修、修繕箇所数	箇所	0	1	0	1
成果指標 2	改修、修繕延長	km	2.2	3	4.4	2.9

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	156,527	155,064	255,400	241,980
正職員人件費 (B)		千円	4,571	7,627	4,665	7,741
総事業費 (A+B)		千円	161,098	162,691	260,065	249,721

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> 路面性状調査 大型構造物定期点検 舗装修繕工事 	<ul style="list-style-type: none"> 委託費 25,980千円 工事費 216,000千円 	

2年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：道路橋梁再整備事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する道路のうち再整備が必要な幹線道路等

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	事業路線の全体整備延長	km	0.36	0.36	1.05	2.67
対象指標 2	事業路線数	路線	1	1	1	4

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・経年劣化などにより損傷した路線について、道路改良や舗装新設などの必要な再整備を実施する。
- ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6/10）

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	当該年度の工事延長	km	0.14	0.05	0.61	1.51
活動指標 2	当該年度の実施路線数	路線	1	1	1	4

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・損傷した路線の再整備を行い、車両や歩行者の安全で快適な通行環境を確保する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	事業路線のうち整備済みの道路延長	km	0.31	0.36	0.61	2.12
成果指標 2	事業路線のうち整備が完了した路線数	路線	0	1	0	2

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	37,206	12,188	96,000	188,442
正職員人件費 (B)		千円	5,714	3,051	6,998	8,515
総事業費 (A+B)		千円	42,920	15,239	102,998	196,957

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・早苗別道路舗装修繕工事 ・新栄通り舗装修繕工事 ・野幌町37号道路改修工事 ・元江別178号道路改修工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・早苗別道路舗装修繕工事 47,520千円 ・新栄通り舗装修繕工事 60,000千円 ・野幌町37号道路改修工事 39,800千円 ・元江別178号道路改修工事 40,122千円 	

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：道路橋梁新設改築事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する道路のうち整備が必要な幹線道路等

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
対象指標 1	事業路線の全体整備延長	km	0.37	0.84	0.47	2.84
対象指標 2	事業路線数	路線	1	2	1	4

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・幹線道路等について、新設のほか拡幅や歩道造成などの必要な整備を行う。
- ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6/10、新設は5/10）

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
活動指標 1	当該年度の工事延長	km	0.16	0.16	0	0.13
活動指標 2	当該年度の実施路線数	路線	1	2	1	4

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・幹線道路等の必要な整備を行い、車両や歩行者の安全で快適な通行環境を確保する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	31年度実績見込み	2年度予算
成果指標 1	事業路線のうち整備済みの道路延長	km	0.21	0.37	0	0.13
成果指標 2	事業路線のうち整備が完了した路線数	路線	0	1	0	0

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	31年度予算	2年度予算
事業費 (A)		千円	86,959	75,219	57,450	262,570
正職員人件費 (B)		千円	6,094	6,102	6,220	12,386
総事業費 (A+B)		千円	93,053	81,321	63,670	274,956

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・元江別66号道路整備工事 ・兵村4丁目通 用地取得・物件補償 ・元江別中央通 用地取得 ・大麻駅跨線人道橋実施設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・元江別66号道路整備工事 40,160千円 ・兵村4丁目通 用地取得・物件補償 27,000千円 ・元江別中央通 用地取得 44,380千円 ・大麻駅跨線人道橋実施設計 40,000千円 	

2年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	